



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2017-2018年度 国際ロータリーのテーマ

2018年

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

R.I 会長 イアンH.S. ライズリー



ロータリー:
変化をもたらす

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝 樹

会長 前原 勝 幹事 園田 誠

クラブ会報・情報委員会

平岩千鶴子・木村洋一・山崎一順・牛腸章

2月19日号

第3057回例会

(2月5日(月)第1例会)

1. 点 鐘
2. 国歌斉唱
3. 桐生市歌斉唱
4. 四つのテスト唱和
5. 来訪者紹介
6. 結婚・誕生祝
7. 乾 杯
8. 会長の時間
9. 幹事報告
10. 委員会報告
11. 卓 話 「桐生雑感」
毎日新聞 桐生支局長 高橋 努 様
12. 点 鐘

ようこそビジター

<卓話者> 毎日新聞 桐生支局長 高橋 努 様

<卓話者> 米山奨学生 沈 軼驊 君

結婚祝

村田 勝俊 君
 澤田 匡宏 君
 坂本 長規 君
 松田 秀夫 君

誕生祝

村田 勝俊 君
 田中 一枝さん
 野間 義弘 君
 後藤 圭一 君
 竹内 靖博 君
 山崎 一順 君
 月門 快憲 君



米山奨学生 奨学金授与

沈 軼驊 君



会長の時間

《報 告》

- 1/29 次年度理事役員予定者会議
- 2/3 ローターアクト第18回地区年次大会
幹事・桑原青少年奉仕委員 出席

《予 定》

- 2/8 未来企画委員会家庭集会
ロータリーデー行事
桐育乳児園へのタオル等の贈呈
- 2/9 長期留学生ホストファミリー会議
会長・飯塚国際奉仕委員長・桑原カウンセラー出席
- 2/10 ガバナー諮問委員会
宮内年度地区研修セミナー
疋田PG出席
- 2/12 振替休日の為、休会
- 2/18 新会員セミナー 松島地区研修委員・
村田クラブ研修リーダー出席

幹事報告

- 歌津地区復興支援の会より、一燈記録集が届いております。
- 桐生南、桐生西、桐生中央、桐生赤城の各RCより週報到着
- 本日例会終了後、定例理事会を開催致しますので理事役員の方々は、ご出席よろしくお願ひ致します。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成30年2月5日)

総員65名:出席46名

平成30年1月22日例会修正出席率:62.30%

😊 ニコニコボックス

前原勝君、藤江篤君…毎日新聞高橋支局長をお迎えて／北川洋君…回復しました／北川洋君…結婚・誕生祝の乾杯をさせていただきます／園田誠君…前原会長お世話になりました／園田誠君…北川パスト会長お帰りなさい。本日、乾杯をお願い致します／北川洋君、野間義弘君、竹内靖博君、月門快憲君、田中一枝さん…誕生祝／久保田信一郎君…写真を戴きました。

卓話



「桐生雑感」

毎日新聞
桐生支局長
高橋 努 様

ロータリークラブは素晴らしい組織ですね。4つのテストは、今日初めて伺いましたが、その精神がきちんと根付いていることに感心をいたしました。今回、会長名で卓話をとのお招きをいただきましたが、卓話というのも含蓄のある言葉だと思います。辞書にはなく、おそらくロータリークラブの造語ではないかと思いますが、「卓」という字には、卓見とか、卓説とか、優れたという意味があります。ただ、私は文字通り、テーブルスピーチのつもりでお話しさせていただきます。

私は記者としては運動畑が長く、スポーツの話をととも思ったのですが、現場をはなれて7～8年にもなり、話も古くなりましたので、今日は私が感じた桐生の印象をお話しします。

桐生に赴任してほぼ2年になります。本当に懐の深い街だと思います。ただ、「桐生は素敵な街だ」というと「昔はもっとすごかった」と、皆さんおっしゃいますね。

新聞記者は、政治部、社会部、経済部、運動部などがありますが、運動部の記者というのは、スポーツマンシップですとか、人間の美にせまる、実に高尚な記者なんです。私の知り合いなどは未だに私をスポニチの記者だと思っていて、競馬のダービーや有馬記念が近づくと「何が勝つんだ」などと電話をしてくれます。ただ、運動部の記者は、政治部や経済部などに比べて実は出張が多く、30代、40代の頃は1年のうち通算すると3ヶ月位は出張していました。私は、ラグビー、アマチュア野球の担当が長かったのですが、こうした大会の取材の場合、開催地に1週間、2週間と滞在することになります。そうした中、記者仲間との話で、いい印

象の街を挙げていきますと、一般に人気がある札幌、仙台などのほかに、函館、盛岡、松山、鹿児島等があります。これらの街の共通項は、そんなに大きい街ではないということです。食事に行きたくて街の人に尋ねると「どこどこへ行ってらっしゃい」と、飲食店街、繁華街を教えてください。松山では大街道、鹿児島ですと天文館ですね。結局、よそから来た人間が、不安もなく、懐の心配もしないで、ふっと入れる場所のある街が人気があるのです。こうした点で、私にとって桐生は大好きな街です。桐生ははしごが出来る街なんです。夕方から始めて、2軒目はどこ、その次はどこと、桐生にはお店の選択肢がたくさんあります。20世紀も終わり、人も減り、社会も収縮してきた中でも、桐生の街中はまだまだお店のバリエーションがそろっています。前任地は渋川で、1年おりましたが困りました。お店が全くありません。前橋もそれほどバリエーションはないです。下手をするとタクシーで移動ですね。桐生の皆さんは、「昔はもっとあったよ」といって、当たり前だと思っただけですが、全国いろいろな街へ行っても、これほど残っている街はもうそんなにありません。先日、BSで宇和島の話をやっておりました。私も好きな街で、3年ほど前に久々に訪ねたのですが、火が消えたような印象でした。いま地方は、全国的に県庁所在地だけがなんとか街を維持している状態です。そう考えると、底力というか深い文化を桐生はまだ濃厚に残しています。「昔のように」とおっしゃいますが、昭和30年代40年代のような活気は、今は無理です。これからは人が減っていくことを前提に考えなくてはならない社会ですから、はしごが出来る街が、まだ営業という点でも成り立っているということを大切にしていきたいと思っています。観光ではなく、そういう視点で、訪れたお客さんを案内してあげるのも良いと思います。

生活するという点でも桐生は大変充実しています。私は巴町に住んでいます。今までいろいろな所に赴任しましたが、ほとんど郊外でした。こんな街中に住んだことはないかと家内も感心しています。シャッター通りと言われていますが、ランチの場所もあるし、買い物も不自由しません。この住みやすさは残していかなくてはなりません。また、市街地の下水道、都市ガスもきちんとひかれて、100%です。これはすごいことです。便利で都市の条件です。私の持ち家は我孫子市で、一応住宅地ですが、下水道など通っていません。ガスはプロパンです。また、桐生の街を歩くと開業医の看板を多く目にします。医療の不安を感じませんね。厚生総合病院も設備が整った立派な病院です。勤務態勢にも余裕があり、群大の医学生にも人気があるようです。桐生はこうした社会基盤が古くから整っていると感じます。こうして考えると、桐生はこれから退職する人間、懐に余裕があって、まだ身体も動く、残っている時間を楽しみたいという人にお勧めな街だと思います。伊勢崎、太田のように2次産業を

呼び込んでという点で勝負しない方が良い。桐生は住みやすいという点を売り込むべきだと思います。

私は山形県の庄内出身ですが、庄内に酒田という街があります。資本と歴史が蓄積された文化的な香りのする街です。かつては酒田に行くというと皆オシャレをして出かけたものです。桐生と似ています。桐生も銭金だけではなく、文化を感じさせる街です。本町通りを歩いていてもそう思います。酒田と桐生との違いは東京との距離感です。東京に通勤するのは無理ですが、いつでも行ける。東京での仕事という「枷」がなくなって、これまで家を持っていなかった人間を桐生に呼び込むのも一つの手だと思います。地方から出てきて転勤を重ねてきた私たち50代の人間には、都市に対するあこがれと、都市に住むことへの安心感があります。桐生は田舎ではなく都市です。定年後に住む街として、東京から遠くない桐生は魅力的だと思います。また、インバウンドも呼び込めると思います。成田から桐生までバスが出ていますね。観光地である必要はないんです。着物を着てみたい、浴衣を着てみたい。桐生には彼らが見たいニッポンがあります。江戸時代から培ってきた文化を濃厚に残す桐生の街そのものが魅力になります。宿泊施設がないと言われますが、空き家対策もかねてバックパッカーの若者向けのユースホステルなんかどうでしょう。訪れた若い人が、この先、再び家族や友人と訪れるようになるのではないのでしょうか。

こういった「街のよさ」を桐生の人は気がついていないように思えます。ゼロサム時代ですから、投資をして見返りを求めるのではなく、あるがままにやっていく、あるもので勝負するのも、よき文化のある桐生の進み方の方法論でしょうか。

スポーツの話ですが、イチローのオリックスでの最後の一年間、大阪本社で担当でした。彼が、メジャーに行くときにポストインを初めて使った選手です。いまになれば当たり前ですが、当時、いろんな方からイチローはメジャーで成功するかと聞かれて、間違いなく成功すると答えました。イチローは私達一般紙の記者からすると、すごく紳士でした。ファンへのサインも丁寧に対応していました。最もすごいと思ったのは、試合が終わった後の囲み取材です。彼は全打席の配球、球筋を記憶しているのです。それらを把握し、分析して打席に立っていました。囲碁将棋のように配球を読んでいく選手でした。今でもそうだと思います。

大谷選手ですが、おそらく投手としては大丈夫だと思います。ただ、メジャーの試合数と広大な地域を移動しながら闘うと環境は、相当な体力を消耗します。いずれ二刀流から必ずどちらかを選ぶという、決断を迫られるのではと

思います。日本人で150キロを常時投げて160キロにせまる大型の右腕投手は、かつていませんでした。おそらく彼が初めてです。その彼がメジャーに挑戦するのですから、非常に楽しみです。ご静聴ありがとうございました。

本日のお食事



キッチン さわい

❀本日のお花❀



桐育乳児園へのタオル等の贈呈
平成30年2月8日(木)
桐生プリオパレスにて

ロータリー活動の意義や素晴らしさを地域に伝え、会員増強を図る『ロータリーデー』の一環として、桐生5RCが協力してタオル等を集め、桐育乳児園に寄贈致しました。桐育乳児園は、家庭の事情で親元を離れている園児が生活しています。贈呈式には、田中ガバナーも出席し、桐育乳児園秋山理事長に目録をお渡ししました。皆様のご協力ありがとうございました。



2017-2018年度
国際ロータリー第2840地区 ローターアクト
第18回地区年次大会
平成30年2月3日(土)伊勢崎プリオパレスにて



園田幹事と桑原青少年奉仕委員が出席致しました。